

HEPHAIST

ヒーハイス ト CSR 活動方針

2024年6月12日 初版

ヒーハイス ト株式会社

はじめに

当社は企業理念である『義の心』を実践するための経営基本方針として『①社会貢献 ②社員共生 ③安定成長』を掲げ、創業以来、固有技術と独自性を生かして「価値の創造」に努めて参りました。

社会及び企業の持続可能な発展を追求するためには、企業が社会における良き企業市民として経済的・環境的・社会的な各側面に配慮して事業活動を行い、CSR（企業の社会的責任）に取り組むことが必要不可欠です。

当社では、企業理念及び経営基本方針を誠実に実践することにより、CSRを果たす取り組みに努めて参りましたが、社会からのCSRに対する期待の高まりに伴い、このたび『ヒーハリストCSR活動方針』を策定いたしました。企業活動においてCSR活動方針を実践し、社会の健全な発展に貢献して参ります。

1. 環境保護

(1) 省資源・省エネルギーの推進

事業活動の各段階で利用する資源・エネルギーのリデュース・リユース・リサイクルを推進する。

(2) 環境法規制の遵守

環境に関する法令を理解し、環境に関する必要な許認可の取得・登録・報告を行う。

(3) 含有化学物質の管理

製品に含まれる化学物質の制限・使用禁止に関する法令を遵守する。

2. 製品安全・顧客満足・消費者保護

(1) 安全性の確保

法令で定める安全基準を満たし、十分な製品安全性を確保できる製品・サービスを提供する。

(2) 顧客ニーズ

社会的ニーズを正しく把握し、顧客に受け入れられる有益な製品・サービスを提供する。

(3) 品質管理

製品・サービスの品質を維持するため、全社的な管理体制を整備し運用する。

3. 労働安全衛生

(1) 労働災害の防止

労働災害を防止するため、必要な安全管理体制を確立する。

(2) 快適な職場環境の確立

快適な職場環境を確立するために必要な措置を継続的かつ計画的に講じ、従業員の健康やゆとりを確保する。

4. 人権擁護・従業員満足

(1) 基本的人権の尊重

雇用や処遇において、人種、国籍、言語、性別（性的指向・性自認を含む）、宗教、信条、政治的意見、出生、社会的出身、年齢、障がい等に基づく差別を行わず、機会の均等を図る。

(2) 非人道的な待遇の禁止

- ・精神的・身体的虐待、あらゆる形態のハラスメント、その他の非人道的な扱いを行わない。
- ・最低賃金、超過勤務、賃金控除、その他給付等に関する法令を遵守する。
- ・法定労働時間を遵守し、法令が定める休日や有給休暇を付与する。

(3) 児童労働・強制労働の禁止

- ・法令による就労可能年齢に達しない児童の労働は認めない。
- ・従業員が自由に離職できることを認め、強制労働、奴隷労働、人身売買は行わない。

(4) 責任ある鉱物調達

紛争地域及び高リスク地域を原産地とし、人権侵害（児童労働・強制労働・奴隷労働・人身売買）、環境破壊、汚職等の不正に関わる組織の資金源となっている紛争鉱物の不使用に努める。

5. 社会貢献・芸術文化・スポーツ支援

(1) 社会貢献

地域社会との共生を大切にし、社会に役立つ事業活動を推進する。

(2) 芸術文化・スポーツ支援

芸術文化・スポーツ支援に取り組み、多様な価値観のもとで豊かな社会の構築を推進する。

6. 倫理法令遵守・リスクマネジメント

(1) 法令遵守

- ・法令を遵守し、コンプライアンスの徹底を図るとともに、取り組みの実効性維持・向上に努める。
- ・安全保障貿易に関する法令を遵守し、適切な輸出手続・管理を行う。

(2) 倫理観

- ・公正・透明・自由な競争を阻害する商取引は行わない。
- ・取引先との連携により共存共栄を進め、公平なパートナーシップの構築に積極的に取り組む。
- ・違法な行動や不当な手段による利益追及は行わず、政治・行政との健全な関係を保つ。
- ・反社会的勢力への屈服や癒着を厳しく戒め、毅然たる態度で対応する。

7. 社内外の情報開示・共有

(1) リスクマネジメント

自然災害その他の緊急事態が生じた際は、的確な管理と実践により事業の継続を確保する。

(2) 適時適切な情報開示

財務状況・業績、企業活動などの情報を関係法令に従い、適時適切に開示する。

(3) 情報管理

取引先・顧客及び自社の機密情報の入手、利用、開示に際して、適切な情報管理の徹底に努める。